

| | | | | | | | | |
|------|----|---------|-----|-------|----|----|-------|------------|
| No.⑧ | 分類 | 3-(2)-イ | 資料名 | やさしい町 | 学年 | 2年 | 関連領域例 | 特別活動(学級活動) |
|------|----|---------|-----|-------|----|----|-------|------------|

1 ねらい

- 町には様々な人々が暮らしていることに気付き、その思いを考える。

2 趣旨

- ユニバーサルデザインを探すことで町の様々な所で人権尊重のやさしい工夫が進められていることに気付かせたい。

3 配慮事項

- 本資料は、生活科の町探検の導入として扱うことができる。また、資料の一部を活用することで、1年生でも、取り扱うことができる。
- 資料のような工夫が身近にない場合は、映像や写真などを準備する。資料編にある写真等を活用し、児童の気付きや発言を広げられるようにする。
- ユニバーサルデザインを必要としている人だけでなく、誰に対しても思いやりの心をもって接しようとする態度に結び付けたい。
- 障害のある方、高齢者等が児童や家族等にいる場合、配慮する。
- 中学年以降の地域学習や総合的な学習の時間へとつながるような活動にする。

4 展開例

| 学習内容 | 指導上の留意点 |
|--------------------------|--|
| 1 町の中のユニバーサルデザインについて考える。 | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>どんなところで見たことがありますか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ みんなが使いやすい工夫をユニバーサルデザインということを確認させる。 ・ 写真や経験をもとに話し合わせる。 ・ 見かけることが少ない資料については映像や写真を準備しておき、補足する。 |
| 2 ユニバーサルデザインの工夫について考える。 | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>ユニバーサルデザインで、誰がどのようにくらしやすくなりますか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広いトイレは、赤ちゃんのいる人や車いすの人も使いやすくなっている。 ・ 低い位置にボタンがあると、小さい子どもや車いすの人もボタンが押せて便利。 ・ 音の出る信号機やブロックのある歩道は、目や耳が不自由な人も安心して通行できる工夫だと思う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 誰のための工夫か考えさせる。 ・ 工夫がされていないときと比較して考えさせる。 ・ 特定の人ではなく、全ての人にとって便利になることについて気付かせる。 ・ ユニバーサルマークに気付く児童がいた場合は、取り上げて説明する。 ・ 文房具や日用品など、様々な所でユニバーサルデザインが増えていることについても話し合わせる。 |
| 3 ユニバーサルデザインを探す計画を立てる。 | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>自分たちの町でも探してみよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 身の回りにもたくさんのやさしさ、工夫があることを伝え、計画を立てさせる。 ・ 生活科で行う場合は、施設にも連絡しておく。 |

5 参考 ・ユニバーサルデザイン写真素材